

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社帝産ロッヂ					
代表者名	氏名	亀岡英司	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県南佐久郡南牧村大字板橋1003					
主たる事業の分類	大分類	M 宿泊業、飲食サービス業				
	中分類	75 宿泊業				
主たる事業の概要	教育旅行やスポーツ合宿などの団体旅行受け入れを主とする宿泊施設の運営、スケートリンクの運営					
制度に該当する要件	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	593.79	665.90	516.27		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	1,238.82	1,434.51	1,067.24		
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>					
自動車の台数	台	7		7		
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>					

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2021	年度	計画期間	2022	年度～	2022	年度
報告対象年度	2022	年度					

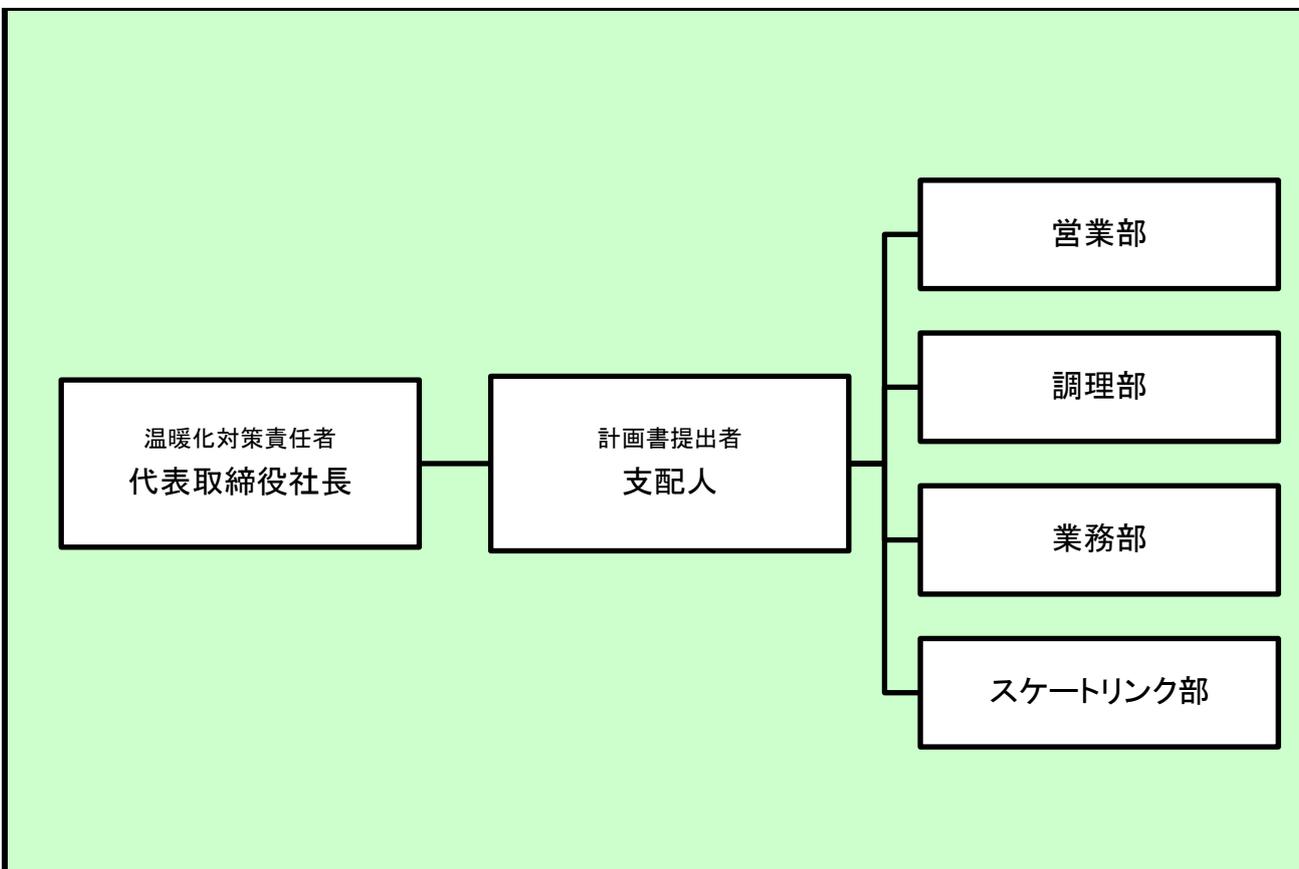
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	閲覧可能場所：帝産ロッヂフロント 閲覧可能時間：9：00～18：00（休館日除く） 担当部署・連絡先：帝産ロッヂ 0267-98-2861
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

エアコンや照明、ボイラー設備などの旧型設備を、省エネ基準を満たした設備に更新していくことにより、顧客満足度を高めつつ、温室効果ガスの排出量削減を行う。また従業員ひとりひとりに対して、常に省エネやゴミの分別による経費節減を意識することを教育することで、不要な経費と温室効果ガスの削減をし、地域に根差した持続可能な企業を目指す。

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネ推進会議（年4回）

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	1,238.82	t-CO <sub>2</sub>	売上金額	20.76	単位	千万円
2021年度	調整後排出量	1,238.82	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	59.67	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
目標年度	目標排出量	1,434.51	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	50.18	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
2022年度	目標削減率	-15.80	%	目標削減率	15.90	%	
目標設定に関する説明	2021年度はコロナ禍により原単位の指標としている売上金額が大幅に少なかったが、2022年度は回復の見通しである。そのため排出量としては2021年度に対して増加する設定としているが、原単位としては15.9%以上の削減を目標とした。目標達成の具体的措置として大きくは2つの取り組みを行う。1つはスケートリンクの水銀灯照明と館内の蛍光灯や白熱球のLED化、もう1つは既存の灯油を燃料とするボイラー設備を高性能のLPGを燃料とするボイラーに更新、である。計画通りこの2つの取り組みが実施できれば目標削減率以上の削減は達成できるものとする。						
第一年度	排出量	1,067.24	t-CO <sub>2</sub>	売上金額	24.59	単位	千万円
	削減率	13.85	%	原単位	43.40	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
2022年度	調整後排出量	1,067.24	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	27.26	%	
	削減率	13.85	%				
排出量等の増減理由	当社の排出量は灯油と電気を使用することに由来する割合が高いことがエネルギー起源CO2排出量の計算シートから読み取れる。2022年度に「中小企業エネルギーコスト削減助成金」を活用して、宿泊施設館内の給湯と暖房の一部の系統のボイラーを省エネ性能の高い高性能ボイラーに更新し、熱源を灯油からガスに切り替えたことにより排出量を削減できた。さらに独自に取り組んだスケートリンクの水銀灯の照明をLEDに更新したことで、年間で180,000kWhの使用量の削減につながり、排出量の削減を達成することができたと考える。						
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	売上金額		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
—年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	売上金額		単位	
	削減率		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
—年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
2021年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
—年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
—年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
2021 年度				基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
— 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
— 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施 年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	150204	照明設備の不要な場所の消灯	2022		2022	
2	エネ起	150201	スケートリンク照明器具のLED化	2022	42	2022	
3	エネ起	110203	既存の旧型ボイラを高効率ボイラに更新	2022	36	2022	
4	エネ起	110304	月ごとの各種エネルギーの使用量管理	2022		2022	
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号  
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	1	1,238.82	1	1,067.24				
合計	1	1,238.82	1	1,067.24				

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
CH <sub>4</sub>				
N <sub>2</sub> O				
HFC				
PFC				
SF <sub>6</sub>				
NF <sub>3</sub>				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0			
電気自動車	0			
燃料電池自動車	0			
クリーンディーゼル自動車	0			
その他 (ハイブリッド等)	0			
合計	0	0	0	0
自動車総数	7	7		
次世代車導入割合				

様式1号  
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	なし
自転車の利用促進	なし
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	なし

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄